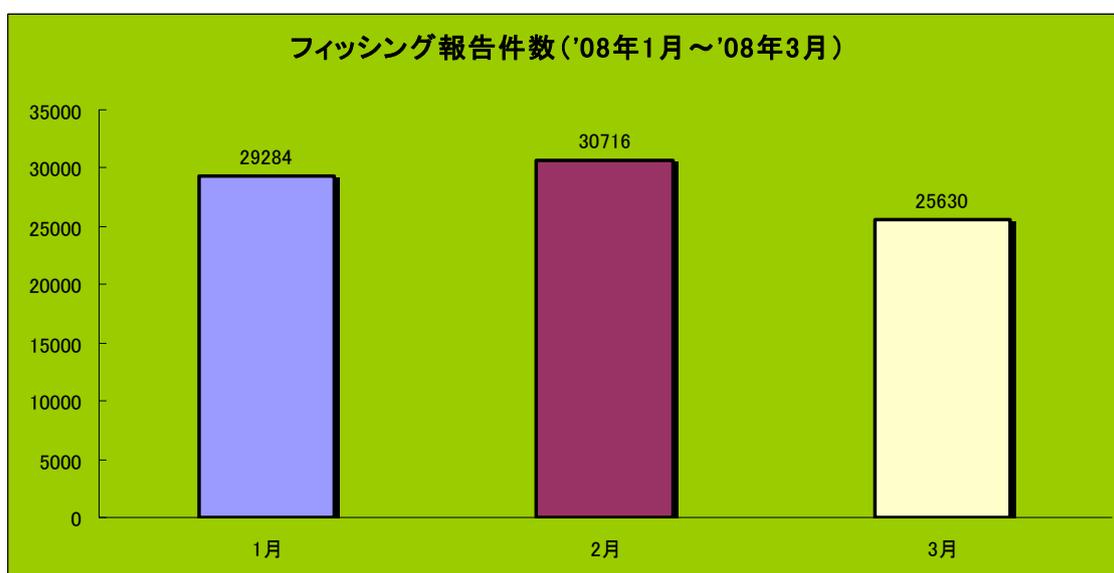


フィッシング対策協議会 4 半期レポート 2008 年 4-6 月期

2008 年 4-6 月期におけるフィッシングに関する動向やフィッシング対策協議会の活動を報告します。

1. 海外のフィッシング状況

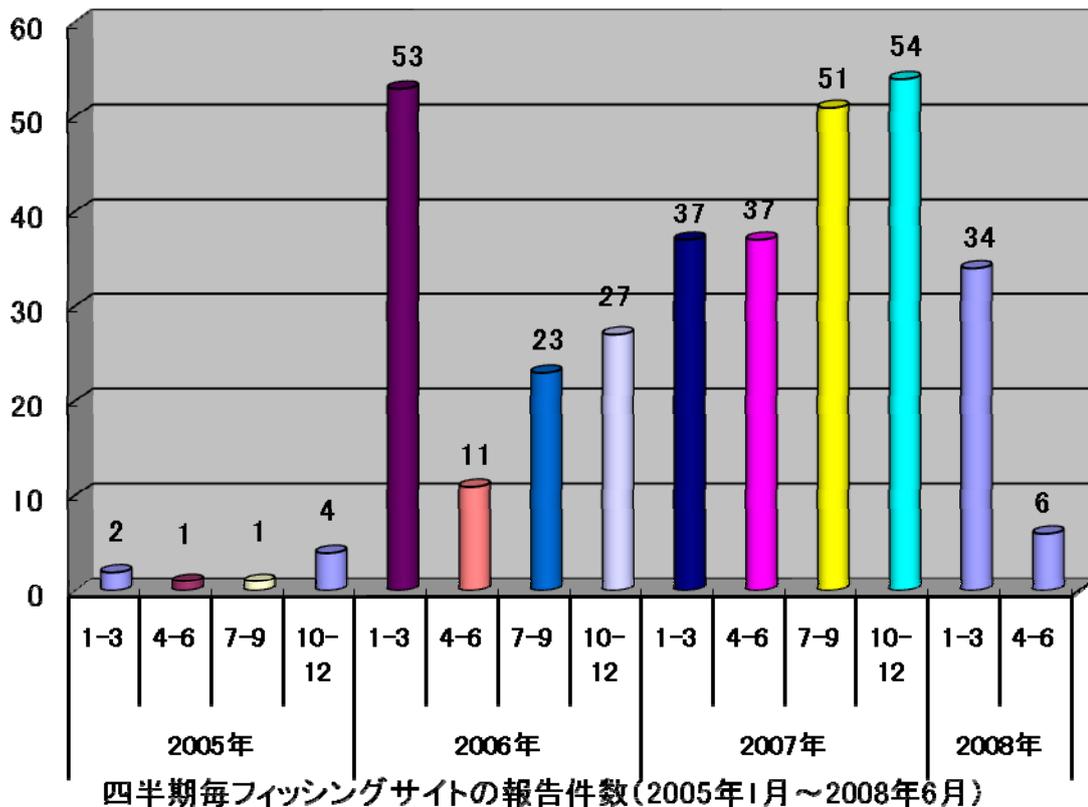
Anti Phishing Working Group(APWG) Phishing Activity Trends Report は、今回より 4 半期毎にまとめて報告する形態となりました。2008 年第 1 四半期のフィッシングに関する報告件数は、2 月に増加し 30,716 件を記録した後 12.5%減少し、25,630 件で 3 月を終えました。3 月の報告は、2007 年 9 月に記録した最高値より 33%小さい値を記録しています。



APWG フィッシング報告件数 (月単位/2008 年 1 月～2008 年 3 月)

2. 国内のフィッシング状況

国内でのフィッシングの報告件数を 4 半期毎に見ると、2007 年 10-12 月が最高 (54 件) を示し、2008 年 1-3 月では 34 件になり、4-6 月期は 6 件と大幅に減少しました。



4-6月期におけるフィッシングサイトの報告の内訳は、下表の通りとなります。国内の事業者ブランドをかたったフィッシング報告は4月1件、6月3件でした。4月に報告されたフィッシング事例は「Yahoo! JAPAN」をかたるもので、1月度を除いて、昨年の11月度から続けて報告されていたものです。これら一連のフィッシングは毎回同じ手口で行われており、メールの形式や文面、偽サイトのコンテンツなどはほぼ同じものが使用されています。一方6月における国内ブランドをかたった報告事例3件は、キャッシング詐欺の疑いのあるものでした。その他は海外事業者ブランドをかたったフィッシングに関する報告でした。4-6月における海外のブランドをかたるフィッシング事例は、5月が「Bank of America」、「PayPAL」、「Google AdWords」をかたるもので、6月は「First Bank」及び「Sun Trust Bank」をかたるものでした。

表 2008年4-6月におけるフィッシング報告件数内訳

ブランド	4月	5月	6月
国内	1	0	3
海外	0	3	2
合計	1	3	5

ISP（インターネットサービスプロバイダ）をかたる事例としては、従来からの「Yahoo!

JAPAN」のもの以外に NIFTY や SNS サイトの mixi に類似する名称をかたるものが 1-3 月に見受けられましたが、4-6 月期においてもこれらブランドをかたるフィッシングの事例について各事業者より注意喚起が行われています。海外においても「Google AdWords」がこの春位から見受けられるようになって来ています。

金融機関へのフィッシングの注意はもちろんですが、それ以外の種々のサービスのための ID やパスワードを不正なサイトに入力することのないようご注意ください。

3. 活動状況

(1) APWG CeCOSII 開催

APWG はネット犯罪対策を討議する国際カンファレンス「CeCOS II 東京：Counter eCrime Operation Summit」を東京・赤坂のグランドプリンスホテル赤坂にて、2008 年 5 月 26 日・27 日に開催し、フィッシング対策協議会はその開催に協力しました。この内容について、フィッシング対策協議会 News Letter No.1 および同 No.2 にまとめていますのでご参照ください。

News Letter No.1 : <http://www.antiphishing.jp/report/200806-apwg-124.pdf>

News Letter No.2 : <http://www.antiphishing.jp/column/200806-newsletter2.pdf>

(2) 事業者調査の公表

「フィッシング対策に関する事業者調査」の実施結果を 6 月 6 日に公開しました。

<http://www.antiphishing.jp/news/000069.html>

(3) Web サイトリニューアル

フィッシング対策協議会の Web サイトを 6 月 24 日よりリニューアルしました。Web 掲載内容の充実と更新頻度の向上を図ってまいります。

以上